

事例No.	3302
公表年度	R6
団体の属性	都道府県
団体名	広島県

事例区分	DX
------	----

タグ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ICT</li><li>・ (行政改革) 業務の効率化</li><li>・ AI</li></ul>
----	--

事例種類	DX
------	----

#### 事例内容・タイトル

デジタル技術を活用した産業・地域課題解決や新たな価値を創出する実証実験の場「ひろしまサンドボックス」

#### 出典

地方自治研究機構 先進事例調査研究（令和6年度）

## デジタル技術を活用した産業・地域課題解決や新たな価値を創出する 実証実験の場「ひろしまサンドボックス」

### 取組のあらまし

取組団体	広島県
取組内容	AIやIoTといったデジタル技術やノウハウを保有する県内外の企業や人材を呼び込み、さまざまな産業・地域課題の解決をテーマとして、共創で試行錯誤できるオープンな実証実験の場「ひろしまサンドボックス」の取組
推進体制	5名（令和6年度）
予算等	177,000千円（令和6年度）/190,000千円（令和5年度）

## 1 広島県の概要

人口	275万 540人	令和6年1月1日現在（住民基本台帳人口）
職員数	4,566人	令和6年4月1日現在（一般行政部門）
総面積	8,478.94 km <sup>2</sup>	令和6年1月1日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

図表 1 広島県の位置図



出所：広島県ホームページ  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/shi-machi/search/search.php?mode=1>

## 2 取組の背景・目的

広島県は、平成30年（2018年）5月に「ひろしまサンドボックス」を立ち上げ、令和6年度（2024年度）で7年目を迎える。「ひろしまサンドボックス」とは、デジタル技術を活用し、新たな付加価値の創出と生産性向上を目指すソリューション開発に取り組む実証実験の場である。名称にある“サンドボックス”とは、「砂場」を意味し、砂山を作ってはならずよう、何度でもトライできる場を意味している。平成30年度（2018年度）から令和6年度（2024年度）に至るまでに「ひろしまサンドボックス」を介して開発・実証された商品・サービスは236件にもものぼる。

関係者の情報交換の場として設置した「ひろしまサンドボックス推進協議会」の会員数は約3,300名（令和6年（2024年）7月31日時点）を超えるまでに成長している。

「ひろしまサンドボックス」誕生の背景には、デジタル技術を活用し、イノベーションを創出することで、広島県の強みである「ものづくり」を中心とした産業を持続していきたいという考えがあった。人口減少と高齢化が進み、労働生産性の低下が避けられないという脅威があった。こうした構造的な課題に対応するために、新たなデジタル技術の活用による付加価値の創出と生産性向上を目指したのである。

一方で、広島県内の企業現場では、デジタル技術の導入が進んでいない実情があった。広島県は、企業におけるデジタル技術導入の課題として、個別の会社や個人ではスタートできない点、費用対効果が導入段階では明確に分からない点、試行できるフィールドがない点、ITのリソース（企業レベル・人材レベル）が無い点を挙げている。こうした企業現場の実態を受けて、IoTといったデジタル技術やノウハウを保有する県内外の企業や人材を呼び込み、さまざまな産業・地域課題の解決をテーマとして、共創で試行錯誤できるオープンな実証実験の場「ひろしまサンドボックス」が誕生した（図表2）。

図表2 「ひろしまサンドボックス」のスキーム図

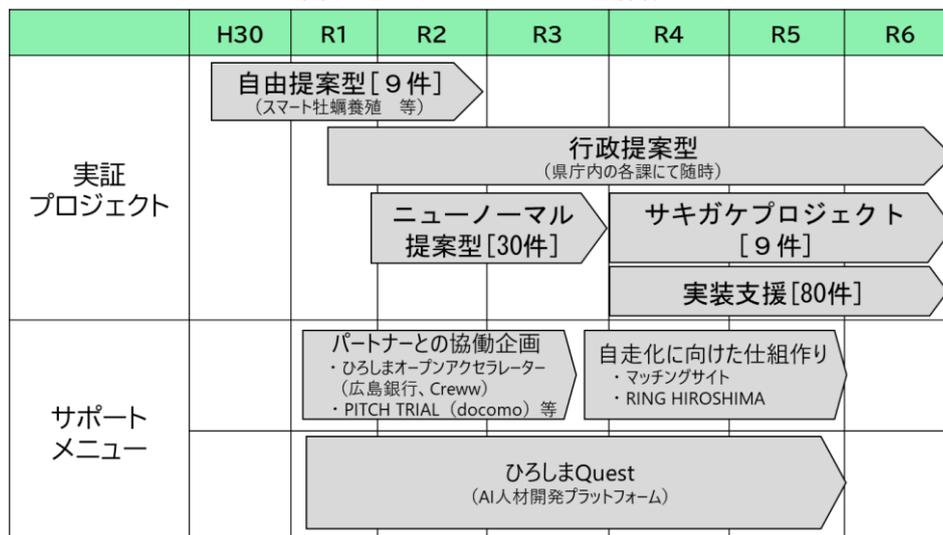


出所：経済産業省「広島県をまるごとデジタル・テクノロジーの実証フィールドに！  
（広島県商工労働局 イノベーション推進チーム）」

### 3 取組内容

「ひろしまサンドボックス」では、実証プロジェクトやサポートメニューの区分により、令和6年度（2024年度）までに、大小さまざまなプロジェクトを展開している（図表3）。

図表 3 プロジェクトの全体像



出所：広島県作成

実証プロジェクトとして、自由提案型、行政提案型、ニューノーマル提案型、サキガケプロジェクト、実装支援を展開している。また、サポートメニューとしては、パートナーとの協働企画、自走化に向けた仕組み作り、ひろしまQuestを展開している。それぞれのプロジェクト概要は図表4のとおりである。

図表 4 実証プロジェクトとサポートメニューの概要

区分		概要
実証プロジェクト	自由提案型	県内外の企業・企業団体等が取り組む産業・地域課題解決に資するプロジェクトの実証事業。 実証の為に必要経費（総計で3年 10 億円規模）を支援。
	行政提案型	広島県庁の各局が抱える行政課題を逆提案し、公募して実施する実証事業。 実証の為に必要経費（総計で2年で1億円規模）を支援。
	ニューノーマル提案型（D-EGGS プロジェクト）	コロナ禍を契機とした社会環境の変化を踏まえ、オンライン化等の新しい生活様式に適應するソリューション提案の実証事業。 実証の為に必要経費（上限 13,000 千円/件）を支援。
	サキガケプロジェクト	D-EGGS より新市場にチャレンジする事業者を選出し、規制緩和・ルールメイクに特化した実証事業。開発実証費用（上限 5,000 千円）、伴走支援、県内企業等とのマッチング、を規制対応やルールメイク等のリーガルサポート等を支援。
	実装支援	令和3年度（2021 年度）までに、各種実証プロジェクト等で実証された商品・サービスを地域社会等へ実装するための支援として、実装に係る経費（補助率 10/10・上限 10,000 千円/件）や、導入効果の検証に係る活動資金（上限 1,000 千円/件）を提供。
サポートメニュー	パートナーとの協働企画	プロジェクトで目指すステージ（育成・実証・事業化）や要望に応じた新たな支援として、パートナー企業と連携した様々なサポートメニューを企画し、実証プロジェクトの落選者や未チャレンジの会員にチャレンジの機会を創出。
	自走化に向けた仕組み作り	D-EGGS プロジェクトの落選者を中心とした再チャレンジ支援として令和 3 年度から「RING HIROSHIMA」を開始。実証に取り組む挑戦者とセコンド（メンター）の双方を募集・マッチングし、社会課題解決に向けたスモールスタートを支援。
	ひろしま Quest	地域課題解決をデータ分析によってアプローチするローカル人材の育成を目的とし、デジタルネイティブ（30 歳以下の県内学生や若手社会人）を対象に、AI の基礎から学べる e-ラーニングの無償提供や AI 予測モデルの制度をランキングするコンペティションの企画実施等の AI 人材の育成プログラムを提供。

出所：広島県『『ひろしまサンドボックス』のこれまでの成果について』を基に当機構作成

## 4 成果・課題

### (1) 本取組の効果

「ひろしまサンドボックス」は、令和5年度（2023年度）末までに200件の商品やサービスの開発・実証に取り組んできた。県内のみならず県外の企業も対象に実証・実装支援を展開したことから広島県内にデジタル技術の知見やノウハウを有する企業・人材の集積が進んだ。産業・地域課題の解決に向けたコミュニティが形成され、県全域で主体的なイノベーション活動に取り組む機運が醸成されたという点に大きな成果がある。

### (2) AI活用をリードする広島県とひろしまサンドボックスの新たな取組

デジタル技術の中でも、特に生成AIを始めとするAI技術の活用は急速に進展しており、産業・地域課題解決への利活用が期待されている。

令和6年（2024年）9月、AI（人工知能）を積極的に利活用して、誰もが希望を持てる社会と未来を目指し、広島県は、『AIで未来を切り開く』ひろしま宣言』を行った。

同宣言を受け、広島県がAI活用をリードする新たな取組のひとつとして、同年10月に、挑戦者を継続的に創出する観点から、ひろしまサンドボックスの新たなプロジェクトとして、「ひろしまAIサンドボックス」を開始している。

このプロジェクトでは、全国からAI技術やノウハウを持つ企業や人材を呼び込み、AIを活用した広島発の新たなソリューションを生み出すイノベーション・エコシステム<sup>1</sup>の構築を目指している。

全国のAIソリューション開発者と課題を抱える企業及び県内自治体等との協業マッチングや、開発・実証にかかる費用を支援することにより、チャレンジできる環境を提供するなど、社会環境の変化に合わせた、新たな挑戦の場を広島県では確保している。



出所：ひろしまAIサンドボックス ウェブサイト（<https://hiroshima-ai-sandbox.jp/#concepts>）

<sup>1</sup> エコシステム：企業等の活動を生態系になぞらえ、企業等が連携を深め、それぞれの企業が持つ技術や知見などを活かし、経済的な利益など、新たな価値創造が行われる仕組みのこと。

## 関連・参考資料

---

広島県，2024，「「ひろしまサンドボックス」のこれまでの成果について」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/588754.pdf>

広島県，2023，「広島県をまるごとデジタル・テクノロジーの実証フィールドに！」（経済産業省，2023.3，「自動配送ロボットに関する自治体向け説明会」中国・四国地域）

[https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/deliveryrobot/07\\_tyugoku\\_shikoku02.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/deliveryrobot/07_tyugoku_shikoku02.pdf)

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/deliveryrobot/information-seminar.html>

ひろしまサンドボックス「広島県のプロジェクト」

<https://hiroshima-sandbox.jp/works>

ひろしまサンドボックス「過去の取り組み」

<https://hiroshima-sandbox.jp/archive>

ひろしまサンドボックス「実装支援のご紹介」

<https://hiroshima-sandbox.jp/implement>

ひろしまA I サンドボックス

<https://hiroshima-ai-sandbox.jp/>